



2021年8月30日

報道関係各位

日本イーライリリー株式会社
第一三共株式会社

片頭痛治療剤「ラスミジタンコハク酸塩」に関する 日本における販売提携契約締結のお知らせ

日本イーライリリー株式会社（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：シモーネ・トムセン、以下「日本イーライリリー」）と第一三共株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：眞鍋 淳、以下「第一三共」）は、日本イーライリリーが片頭痛に係る適応で申請中の 5-HT_{1F} 受容体作動薬「ラスミジタンコハク酸塩（一般名）」（以下「本剤」）について、国内における販売提携契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本契約に基づき、既に両社にて販売提携を行っている「ヒト化抗 CGRP モノクローナル抗体製剤 エムガルティ®（一般名：ガルカネズマブ（遺伝子組換え）」と同様に、本剤の製造販売承認は日本イーライリリーが有し、承認取得後の流通及び販売を第一三共が行います。また、医療従事者への情報提供活動は両社で実施します。

日本イーライリリーは、中枢神経・疼痛領域での実績とグローバルネットワークをベースに、国内で強固な営業基盤を持つ第一三共と販売提携することで、製造販売承認取得以降はエムガルティ及び本剤の両剤を通じて、医療従事者の方々への適正な情報提供体制を強化してまいります。

第一三共は、片頭痛発作の発症抑制としてのエムガルティと本剤による片頭痛のトータルケアサポートを通じ、より多くの片頭痛患者さんの生活を改善できるように取り組んでまいります。

日本イーライリリーと第一三共は、エムガルティ及び本剤の販売提携を通じてこれまで以上に緊密な協業を行い、日本の片頭痛医療の更なる前進と片頭痛患者さんのより豊かな人生に貢献してまいります。

以上

<参考情報>

ラスミタンコハク酸塩について

本剤は、片頭痛発作の急性期治療薬として開発された、低分子のセロトニン（5-HT）_{1F}受容体作動薬です。片頭痛の病態には三叉神経系の過活動が関係しており、5-HT_{1F}受容体が三叉神経系の神経細胞に発現していることから、5-HT_{1F}受容体の片頭痛病態への関連性が指摘されてきました。本剤は、中枢に移行し、中枢及び末梢の三叉神経系神経細胞に発現する5-HT_{1F}受容体に選択的に結合します。5-HT_{1F}受容体を作動することで、中枢での疼痛伝達や三叉神経系の過活動を抑制し、三叉神経からの片頭痛に関わる神経伝達物質[カルシトニン遺伝子関連ペプチド(CGRP)及びグルタミン酸]の放出を抑制することから、片頭痛発作への効果が期待されます。片頭痛の急性期治療薬として2019年11月、米国において承認を取得し、現在では世界4カ国の患者さんに提供されています。

片頭痛について

片頭痛は、男性の3.6%、女性の12.9%が抱える神経性の疾患*1で、頭の片側もしくは両側に中等度から重度の強さの痛みが4～72時間持続すると共に、随伴症状として、悪心や嘔吐、光過敏、音過敏を伴うことが典型的とされます。日常生活上の支障を抱えながら過ごす負担は全疾患の中で2番目に大きいといわれています*2。

*1: Sakai F. et al. Cephalalgia. 1997;17:15-22

*2: GBD 2017 Non-Typhoidal Salmonella Invasive Disease Collaborators. Lancet Infect Dis. 2019; <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/28919117/>

日本イーライリリー株式会社について

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.lilly.co.jp>

第一三共株式会社について

第一三共グループは、「世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する」ことをパーパス(存在意義)に掲げ、2030年ビジョン「サステナブルな社会の発展に貢献する先進的グローバルヘルスケアカンパニー」の実現に向け、世界中で多くの患者さんに服用いただいていた脂質異常症、感染症、高血圧症や血栓症領域の薬剤に続き、革新的ながん領域の新薬を育成してまいります。また、サイエンス&テクノロジーの優位性を活かし、新規モダリティの技術研究等を通じた創薬力の強化を目指しております。第一三共グループは、患者さん、医療関係者等の皆さまの多様なニーズに対応するべく、イノベティブ医薬品(新薬)に加え、ジェネリック医薬品、ワクチン、OTC医薬品の事業を展開しております。詳細については、www.daiichisankyo.co.jp をご覧ください。